

## 「2022年夏季交流会」

### 磯野先生の講演への感想あるいは質問

- 構成主義など知らなかつた概念が多く出てきて、まだ医学を学び始めた身としてはなかなかリンクして考えられないで、これから勉強していくにあたつて今日のことを念頭に置いて学んでいくように思いました。
- 医療人類学は象徴に注目するというのが難しいと思いました。しかし、医療だけでは見えない苦しみも扱えるということがとても良いと思い、もっと学んでみたいとも思いました。実際人間はどうしても呪術的な考えを持っているので、これから臨床の場に出て行くにあたつて医療人類学の考えもうまく活用していきたいです。
- ただ患者さんに寄り添うというだけでなく、確かに論理的でもあって、そのバランスが面白いと思った。もっと聞いてみたいと思った。
- 非科学的なことも切り捨ててはいけないと思った。
- とても理解しやすかったです。生物学的な面だけでなく、医師は色々な事を考えなくてはいけなくて大変だなと思いました。
- 普段勉強したことない分野や考え方改めて触れることが出来て有意義でした。
- 医療人類学の詳細な内容について聞きたかった
- 医療人類学という自分にとって新鮮な話を聞き、実証的な視点にとらわれないようになろうと感じさせられた。
- 日常的に呪術が使われていることを具体例を用いて教えてください、とても興味深かったです。
- 医学部にいるとつい非科学的なものを否定してしまうが、臨床の現場ではそういったものを信じる人も多いと思うので、患者さんがそれを信頼する背景というものに目を向けられるようになりたいと感じた
- 医療人類学は馴染みがなく、意識しないと学ぶ機会がなかつたので、興味を持つ大変良い機会だった。
- 医療人類学について今まで全く知らなかつたが、今日のお話を聞いて面白そうだなと思った。自分でも本を読んでみたい。
- 呪術的な考えを持ってるというのは今まで意識して生活してきたことはなかつたけど、言われてみるとめちゃめちゃ当てはまるなということが多くて驚きました。また、医療の現場でもこの考えを前提にして患者さんと接する場面が出てくると思うので今日のお話を頭に置きながら、臨床の勉強をしていきたいと思いました。
- 医療人類学というものを初めて知り学ぶことが出来ました。私たちの生活にある考え方で納得しました。とても興味深い内容で、もっと深く学びたいと思いました。
- 宗教やスピリチュアリティへのなじみが薄く育ってきた世代なので理論的におかしい云々と理由をつけてすぐに排除してしまいがちな観念/学問に関して丁寧に説明して下さり、自分の柔軟さや今後の言動を問う良い機会となりました。
- DEATHNOTE のお話にもあったように、人には超自然的な事柄を因果関係を用いて結びつけること多くあるが、因果関係を結ぶ中にもロジカルな思考（二度や三度起こることから因果を認める

	<p>等) もあると思った。上記のように呪術と医療も関連性はあるのか気になった。</p> <p>科学的な理論のみで診察せず、患者さん的心を察する心察できるような医師を目指したいと思った。</p>
・	<p>医療人類学と聞いて難しそうに感じたが、噛み砕いて分かりやすく講演していただけたのでとても興味を持てた。自分自身は願掛けやおまじないといったものを割とするほうなので、エビデンスのないものを信じる患者がいるのもわかるし、今回の講演はそういった人に対してどう接すればいいか考えるきっかけになった。</p>
・	<p>医療人類学とは初めてしっかりと学ぶことでしたが、これから自分が医療の現場に立つ上で見えなくなりそうだが確実に大事なことだと感じました。内容もとてもわかりやすくてよかったです。また自分でも医療人類学に対して少し学んでみたいと思いました。</p>
・	<p>医療人類学という言葉に馴染みがなかったが、病院や身の回りでその考え方方が使われていて、臨床で役に立つ考え方であると思った。また、それらを使っていきたいと思った。</p>
・	<p>貴重な御講演ありがとうございました</p> <p>質問にご回答いただきました際に名前のあがった書籍も読んでみたいと思います</p>
・	<p>聞き慣れない分野のお話で身構えてしまっていたが、易しい言葉で説明してくださってわかりやすくてありがたかったです。医師になったあとに学びたいと思った。</p>
・	<p>医療人類学という珍しい講演が聞けて光栄でした。一般教養で文化人類学というのをとっていましたが、全然異なる内容だったので、勉強になりました。</p>
・	<p>医療人類学というものに初めて触れましたが、普段考える医療とは違った視点で、とても面白かったです。呪術についてのお話がとても印象的でした。</p>
・	<p>わたしが地域医療に興味を持って医師を目指した理由のひとつとして、地域に根ざした患者さんの社会性や生活を失わない治療に惹かれたからというものがある。そのきっかけとなった鎌田實先生の著書を読んだ時に知った、魂の痛みは今回の磯野先生のお話と通じるものがあると感じた。今後医療を提供する立場として様々な価値観の方と出会うと思うが、今回の構成主義的な考え方を忘れずに、心理的な不安を少しでも和らげることのできるよう出来たらと思った。</p>
・	<p>呪術という言葉で少しどきっとしたが、磯野先生のご説明で、確かに医療現場でも日常的に出くわす事だと納得できた。</p>
・	<p>医療人類学は初めて聞いたが、非常に興味深い内容で面白かった。話の中で呪術の話があったが、将来働くようになった際には、そのような考え方があるとして、科学的ではないからといって退けるのではなくどのような背景でそのような考えになったのかといったように、生物学的な視点ではなくその人に対して関心を持つようにしたいと思った。</p>
・	<p>呪術という観点から医学を見てみるというのが新しい視点で面白かった</p>
・	<p>今まで医療人類学に関する話を聞く機会がなかったので、とても貴重な時間でした。</p> <p>巷にあふれる「がんに効く水」などの話を聞くたびに、どうしてそんなものを信じるのだろうと思ってしまいましたが、呪術は私達の身近にあるし誰もが頼っているものだというお話を聞いて、考え方を変えなければならないと思いました。</p> <p>医学部は均一で狭い世界だという話もよく聞くのですが、いまいちピンときていない部分もあつたため、今回の講演でハッとさせられたことがとても多く、実りある時間だったと思います。ありがとうございました。</p>
・	<p>全人的医療を行う上で、医療人類学は非常に重要なものになると感じております。患者さんと医</p>

	<p>療者の溝を埋めるために、主訴を医学的にとらえるのはもちろんのこと、物語的に理解することも必要になると感じました。</p>
•	構成主義の考え方で、物事の見方は人それぞれで異なることがわかつた
•	概念的な話が主であったので理解することが少し難しいと感じたが、その分奥が深く面白い話であるなとも感じた。
•	医療人類学について全く知らなかったのですが、わかりやすいご講演で、医療人類学についてさらに知りたいと思いました。ご講演ありがとうございました。
•	医学部に入って、日々の講義を通してエビデンスベースの医療という概念は当たり前のように潜在意識に組み込まれていましたが、今回のお話で聞いたような構成主義、ナラティブベースの医療というものの存在に触れることができて、とてもいい機会となりました。患者さん一人一人に異なる現実がある中で患者さんにとっての幸せとは何か考えなければならない今後に向けて、医療者として医療人類学を学ぶことの必要性を感じました。
•	人類学の観点から医療を見る視点を勉強できたところが良かったです
•	とても興味深いお話で、1時間が一瞬でした。 エビデンスの無いものに価値をどう置けば良いかわからなかったので、今回の話は腑に落ちる部分が多く、今後の医学勉強においても大変有意義だと感じました。
•	医療人類学については全く、知らなかったのですが、大学の講義で学んだ心理学や行動医学などと関連があるように感じて、大学の学びを活かして講演を聞くことが出来たのでよかったです。
•	正直難しいところもあったが、医療に関わる身として、こういった視点も必要だと強く感じた。
•	患者の考え方について新たな視点を得ることができた。
•	とても興味深いお話をありがとうございました。特に、あの三角と丸の動画が、ただの丸と三角が動いているだけなのにほとんどの人が同じ考え方を持ち、しかし少しづつ考え方方が違っているのが見られてとても感心しました。
•	一つの事象に対して、さまざまな解釈があることはもちろん理解していましたが、解釈のみならず意味付けも人それぞれであったり文化によって異なるということを学術的に学ぶことができたと思います。また世の中は呪術だらけであることを知るとともに、もし自分の患者が強固に呪術に嵌ってしまっている場合にはどのように導いていくのがベストなのか考える必要があるのかなと思いました。
•	医療人類学という分野は初めて知ったので、概要をなんとなくでも知ることができてよかったです。
•	医療人類学という学問は初めてでしたが、普段実習での臨床の現場でも意識するとまた違った見方ができらようになると思います。とても興味深く、また本を購入してみようと思いました。
•	今まで受けたことのない面白い講義でした。生物学的観点以外の面も医師として重要な知識にあることもあると感じました。
•	抽象的な話であるため難しく感じることもあったが、例を挙げて説明していただいたため分かりやすく、興味深かった。
•	それまで医療人類学という観点であまり考えたことがなかったので、とても新鮮に感じた。磯野先生がおっしゃったように自分も重要な観点だと思うので、自ら進んで感心をもったり調べたりしたい。

- ・ 治る確率は患者さんにとっては意味がないというところが心に残りましたら。